

千里納骨堂改築工事地質調査地質柱状図 (No. 1)

調査地点 福岡市西区千里 237

調査深度 19.00m

仮標高 11.073m 地下水位 6.4-3.50m

調査年月日 自昭和 年 月 日至 月 日

標尺	標高	深度	層厚	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	標準貫入試験										試料			
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数			N 値					採取方法	採取番号		
												10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40			50	
m	m	m	m							m	回/cm	10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
1.		0.10	0.10		灰	コンクリート	0.10~1.20m間 益土のみなり。礫まじり砂質シルト~固結シルト状を呈す。	硬い	1.15	1	9	2	3	4								◎	1
2.		1.20	1.10		黄褐色	益土	1.20~1.40m間 差錯堆積層からなる。	非常に硬い	1.45	2	17	5	6	6								◎	2
3.							1.20~1.30m間 マサ土のみなり。砂質シルト~礫まじり砂質シルト状を呈す。	硬い	2.45	3	22	7	7	8								◎	3
4.		4.00	2.80		黄褐色	砂質シルト	4.00~8.00m間 礫径φ2~5mmの石英粒等を混入する礫まじり砂質シルト状を呈す。	硬い	3.45	4	12	3	4	5								◎	4
5.								硬い	4.45	5	10	3	3	4								◎	5
6.								非常に硬い	5.45	6	24	7	7	10								◎	6
7.								中位硬い	6.45	7	6	2	2	2								◎	7
8.		8.00	4.00		黄褐色	礫まじり砂質シルト		硬い	7.45	8	11	3	4	4								◎	8
9.		9.00	1.00	黄褐色	砂質シルト	9.00~14.00m間 礫径φ2~50mmの花崗岩米風化礫、石英が多く混入する。また、13.00~13.80m間にはφ20mmの片岩米風化礫を含む。	固結	8.45	9	49	13	19	17								◎	9	
10.								非常に硬い	9.45	10	28	9	9	10								◎	10
11.								硬い	10.45	11	29	8	10	11								◎	11
12.								固結	11.45	12	50	50	50									◎	12
13.								非常に硬い	12.45	13	26	8	8	10								◎	13
14.		14.00	5.00	黄褐色	礫まじり砂質シルト	14.00~19.00m間 花崗岩風化帯からなり、原岩の粗粒を残したまま、風化するにつれて大変よく締る。礫まじり中~細砂状を呈す。	密に締る	13.45	14	32	9	11	12								◎	14	
15.								非常に硬い	14.45	15	52	15	17	20								◎	15
16.								硬い	15.45	16	50	50	50									◎	16
17.								硬い	16.45	17	50	50	50									◎	17
18.								硬い	17.45	18	50	50	50									◎	18
19.		19.00	5.00	灰目	花崗岩風化帯			硬い	18.45	19	50	50	50								◎	19	
20.																							
21.																							
22.																							
23.																							
24.																							
25.																							

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- — 1 乱さない試料
- ◎ — 2 貫入試験機による試料
- — 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3. 20	3.20~3.70は試料採取深度(m)
45/50	
3. 70	45/50は回収比(50cm:貫入深さ45cm試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは、最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれ示したものである。